



No.19 2008.7

news

BIZ 島田節子

400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

## ～ラスベガスに行ってきました～

5月末から6月にかけてJCKラスベガス国際ジュエリーショーに出展しました。“JCKをクリアできれば世界のどのショーにも耐えられる”とは帰国してから聞いた言葉。確かに通関手続きを含めて砂漠の中の歓楽の街。体力勝負ではあった。でも海外での仕事はどこも体力第一。(体力は気力に通じる)



ロサンゼルス空港からはじまるシステムと対応の悪さ。屋外は刺すような陽射し。屋内は凍える寒さ(環境対策はどこへ)。1日何本もの水ボトルを消費しつつも、同行の友人～私よりはるかに体力・知力に優れている～は食事中に鼻血が止まらない。水分不足で血管が切れたらしい。鼻血ですんでよかったのだ。と、そんな中で唯一の救いはビジターの讃辞。

“ビューティフル” “ゴージャス” 決まってこう云う。“日本人は何て繊細でノブールなの。日本食がおいしいわけよね”とも。

↓↓予想通りこの2つのシリーズに人気集中↓↓



アクアマリン・トルコ石などほぼ原石状態に見える大ぶりのネックレス



和のシリーズ～アンティークを使って

※JCKラスベガスショー作品展：7/22(火)～7/28(月) 甲府ギャラリーBIZ

## ～行き交う電動車椅子～

ラスベガスでは仕事以外はカジノも華麗なショーにも立ち寄らず、ひたすら歩いていた。そんな中、電動車椅子が眼につく。高齢の故ではない。太りすぎて歩けないためだ。ヒザに届く程の腹をのせ、片手にタバコ、片わりに小バケツ程のコーラを置き、スロットマシンのバーを押す。早朝夜半でも見かけるその姿はアメリカの病魔のひとつを見た想い。10代の可愛い少女も妊婦のような腹をつき出す。成田に降り立ち、日本人が何とスリムでさわやかに見えたことか！

## ～ストレス喰い 又は 癒し～

ことし前半から息つく間もない忙しさ。頭が体においつかず、破裂しそうな脳はストレス満杯なのかも。人から見ると私は驚く程の大喰いらしい。ストレス喰い、とも云われる。でも食べることは楽しみのひとつでもある。大根おろしたっぷりの納豆、浅利と根三葉の小鍋仕立て。焼き野菜、etc・・・それらは優しく私を包んでくれる。こんなにゆっくり食べる時ぢゃないのよね、と思いつつ楽しんでる。それらが昂じたのかどうか私のウエストまわりが妙に柔らかくなってきた。これってメタボ腹のはじまり？

## ～Roman Glass～

ローマン・グラス、紀元前後200年位の時代のジュエリー。

当時、ルビー・サファイアは男性の鎧などにお守りとして

うめこまれ、ジュエリーはガラスだった。クレオパトラもその時代（BC）の人。何をかくそう、私はアフリカ大好き人間なのだ。2000年も地中に眠っていたガラスは乳化現象で虹色を放つ。強度は現代のガラスよりずっとつよい。私は素材はほとんど海外で入手する。ローマン・グラスを見た時の

私の気持ち。ローマ帝国も建国されていない時代へ夢のようにとぶ。ただのガラスの破片。大好きなカエサルの時代。とんでしまったアタマはもういけない、売れるかどうかなんて考える余裕はない。ひたすらとりこ。

